

2014年11月17日

報道関係各位

ソーラーフロンティア株式会社

ソーラーフロンティア、廃校再生の酒蔵に電力供給 ～実発電量の高いCIS薄膜型太陽電池パネルを新潟県佐渡市の「学校蔵」に設置～

【東京 - 2014年11月17日】 - ソーラーフロンティア株式会社（社長：平野敦彦、本社：東京都港区台場2-3-2 以下：ソーラーフロンティア）は、新潟県佐渡ヶ島で、CIS 薄膜型太陽電池パネルを利用したお酒の製造が始まったことをお知らせします。

この酒蔵は、同島の老舗酒造メーカーである尾畑酒造（株）が「学校蔵プロジェクト」の構想のもと旧西三川小学校の閉鎖後の校舎を佐渡市から借り受け、「学校蔵」（酒造りラボ）として再生させたものです。本日、この施設へのソーラーフロンティアのCIS 薄膜型太陽電池パネルの設置が完了しました。この酒造りへの自然エネルギー利用は、佐渡市とIR3S（東京大学 国際高等研究所サステナビリティ学連携研究機構 以下：東大IR3S）による、同市の「低炭素社会づくり」の最初の社会実装プロジェクトです。このたび旧水泳プール内に設置された10kWのCIS薄膜型太陽電池システムで、同酒蔵での酒製造に必要な電力の20%をまかないます。なお、この酒蔵で仕込まれた新酒はその名も【学校蔵】というブランドで11月3日より発売開始されており、樽酒のような奥深い味わいで好評を博しています。

尾畑酒造社長の平島健氏は次のように述べています。「4年前に136年にわたる歴史の幕を惜しまれつつ閉じた旧西三川小学校は、『学校蔵』として生まれ変わりました。この酒蔵は、地域の拠点そして島内外の人的交流の場を目指しています。佐渡ヶ島の良質なお米と清らかな水、そして太陽光という環境に優しい自然エネルギーとのハーモニーによって作り出された【学校蔵】は、佐渡ヶ島の自然の恵みを余すことなく生かしたお酒です。かつての学び舎で作られた【学校蔵】には地域の思いがたくさん詰まっています。このブランドを御紹介できることを誇りに感じています。」

ソーラーフロンティア社長の平野敦彦は述べています。「この佐渡市のプロジェクトは、エネルギーの地産地消がまさに具現化されたものです。廃校を地域の拠点として蘇らせ、その名を冠したブランドとして世に送り出した尾畑酒造様の先駆的な取り組みは素晴らしいものです。本件は地方自治体による低炭素社会づくりのモデルケースでもあり、【学校蔵】はその象徴です。ソーラーフロンティアのCIS薄膜型太陽電池パネルが、この様な自然エネルギーを有効活用した地域社会づくり、コミュニティの連携・活性化のお役に立てることを大変うれしく感じています。」

尾畑酒造の「学校蔵プロジェクト」は、佐渡市の協力のもと、東大IR3Sと昭和シェル石油の参加による共同社会実装事業として実施されています。本プロジェクトの太陽電池パネル選定にあたっては、CIS 薄膜型太陽電池パネルの優れた実発電量が決め手の一つになりました。この太陽電池パネルは、佐渡市のように年間の日照量が比較的少ない地域でも、他のパネルと比べて発電量が高いのが特徴です。ソーラーフロンティアのCIS薄膜型太陽電池パネルはこれまでも、同じ新潟県の雪国型メガソーラー（新潟市）等において、高いパフォーマンス

を發揮してきました。また、黒を基調としたCIS 薄膜型太陽電池パネルの落ち着いたデザイン性は、佐渡ヶ島で一般的な光沢のある黒色の屋根瓦に調和し、古い木造校舎との景観的な相性の良さも評価されています。

ソーラーフロンティアは、これからも、産学官の協働を大切にしながら、地域社会の発展に貢献できるCIS 薄膜型太陽電池パネルによる「分散型発電モデル」の普及に邁進してまいります。



尚、当面は免許の関係で日本酒の製造後に杉材を浸けて樽酒のテストにすることでリキュール表記となります。

【尾畑酒造株式会社について】 「真野鶴」で知られる佐渡ヶ島の老舗酒造メーカー。1892 年創業。

<http://www.obata-shuzo.com/home/>

【ソーラーフロンティア株式会社について】

ソーラーフロンティア株式会社は昭和シェル石油株式会社(5002, T)の100%子会社であり、CIS 薄膜太陽電池の生産・販売を行っています。2011 年2 月より商業生産を開始した国富工場(公称生産能力 900 メガワット)は、CIS 薄膜太陽電池の生産工場として世界最大です。ソーラーフロンティア株式会社が生産・販売するCIS 薄膜太陽電池は、銅、インジウム、セレンを使用して、当社の独自技術で生産する次世代太陽電池であり、経済効率が高く、環境に優しいことが特徴です。太陽電池の設置容量(kW)あたりの実発電量(kWh)が従来型のものに比較して高いだけでなく、原料からリサイクル処理まで高い環境意識で設計・生産されており、その長期信頼性や保証体制に関しては「JETPVM 認証(JIS Q 8901)」などの第3 者機関による認証を受けてきました。デザイン面でも、内閣総理大臣表彰「第2 回ものづくり日本大賞」で優秀賞(製品・技術開発部門)、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2007 年グッドデザイン賞」では特別賞エコロジーデザイン賞を受賞しています。詳細につきましては[当社ホームページ](#)をご覧ください。当社公式の[ブログ](#)、[Facebook](#)、[Twitter](#)でも太陽光発電に関する最新情報などを随時発信しています。

【IR3S について】

IR3S(東京大学国際高等研究所サステナビリティ学連携研究機構)は、地球・社会・人間システムの統合による持続型社会の構築を目指して、2005 年に東京大学内に設立されました。ソーラーフロンティア株式会社の親会社である昭和シェル石油株式会社は、持続可能な社会システムの構築に向けIR3S と共に、エネルギーの持続可能性の追求に取り組んでいます。

IR3S は、その具体的な活動として、新潟県佐渡市において、再生可能エネルギーを含めた自然資本を徹底的に活用しつつ、省エネルギーを促進することで、地域エネルギー自立化を実現するための社会実装工学的な研究に取り組んでいます。

<http://www.ir3s.u-tokyo.ac.jp/>

報道関係からの問い合わせ先:

ソーラーフロンティア株式会社 コーポレートコミュニケーション部

吉田・高橋 TEL: 03-5531-5792